

2013年9月17日
中部電力株式会社

電気料金値上げの検討開始について

当社は、2011（平成23）年5月の浜岡原子力発電所の全号機停止以降、火力燃料費が大幅に増加したため、収支が悪化し、極めて厳しい経営状況にあります。

また、昨今の円安の進行などにより燃料費はさらに増加し、経営状況は一段と厳しさを増しております。

そうしたなか、当社は、1日でも長く現行の料金水準を維持できるよう、全社を挙げて、聖域を設けず、徹底した経営効率化に取り組んでまいりました。本年4月には、「経営効率化緊急対策本部」を設置し、踏み込んだコストダウンによって収支の改善を図っているところです。

しかし、2013（平成25）年度の業績見通しについては、コストダウンの成果を反映し、2度にわたり上方修正を行ったものの、依然として連結経常損益で1,000億円、個別経常損益で1,100億円の経常損失を見込まざるを得ません。

また、2014（平成26）年度についても、津波対策をはじめとした安全対策工事を進めている浜岡原子力発電所の運転再開が見込まれないことから、賃金の引き下げをはじめとした最大限の努力を行っても、赤字は避けられないと判断せざるを得ない状況にあります。

こうした状況から、当社の最大の使命である電力の安全・安定供給を継続していくためには、苦渋の選択ではございますが、電気料金の値上げについて、具体的な検討を開始せざるを得ないと判断いたしました。お客さまには、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

当社は、お客さまのご負担をできる限り少なくできるよう、今後も引き続き、全社を挙げて、聖域を設けず、徹底した効率化に取り組み、最大の使命である電力の安全・安定供給に全力を尽くしてまいります。

以 上